

事務事業評価シート 平成 30 年度事後評価・決算

令和 2 年 2 月 21 日時点

		所管課		学校教育課			担当班	指導班	
事務事業名	コード	38900	中学校緊急スクールカウンセラー配置事業	予算科目	会計	款	項	目	
					一般	10	3	2	
施策体系	基本施策	11	学校教育の充実	根拠法令	平成27年度緊急スクールカウンセラー等派遣事業委託要領				
	施策の展開	21	教育支援体制の充実	戦略事業	115	スクールカウンセラー配置事業			
	施策の展開			戦略事業					
								事業種別	☒ 主な事業 ☐ 国土強靱化地域計画 ☐ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 23 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	被災した生徒が、安心して学校生活を送ることができるようにするための相談活動や、学校職員および保護者への指導・助言を行うスクールカウンセラー(臨床心理士)を雇用する。＜国庫補助＞緊急スクールカウンセラー(2人〔28年度は3人〕)は決められた配置校に決められた時数勤務し、随時相談を受ける。年間勤務時間数:1人当たり63時間 ＜県費＞スクールカウンセラー(5名)は各中学校に配属され、随時相談を受ける。また、依頼に基づき他校での相談も行う。		
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	
東日本大震災時の大地震や津波の影響により、不安感を強く抱いている生徒や、登校しぶりの生徒が見られた。		震災から数年が経過し、当時の被害状況を知らない教職員も増加しており、学校現場は対応に困難を抱えている。	
		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
		スクールカウンセラーによる、継続した生徒への心のサポートや、保護者、教職員への適切な指導・助言を行うことで、学校だけでは対応が困難な問題の解決に大きな期待が持たれている。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(30年度の決算) 単位:千円												
1. 労災等保険料	0	労災保険料	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)				
2. 臨時雇用賃金	0	賃金、通勤、会議	1. 労災等保険料	千円	2	2	3	0				
			2. 臨時雇用賃金	千円	642	897	897	0				
				千円								
				千円								
② 特定財源の内訳(30年度の決算) 単位:千円												
1. 国庫支出金	0	緊急スクールカウンセラー等活用事業交付金	事業費計 (A)		千円	644	899	900	0	0		
2. 都道府県支出金	0		1. 国庫支出金	千円	644	899	900	0				
3. 地方債	0		2. 都道府県支出金	千円								
4. その他	0		3. 地方債	千円								
			4. その他	千円								
			5. 一般財源	千円	0	0	0	0	0	0		
前年度増減理由												
		従事職員数		常時	人	最大	人	×	日	= 延べ	0	人

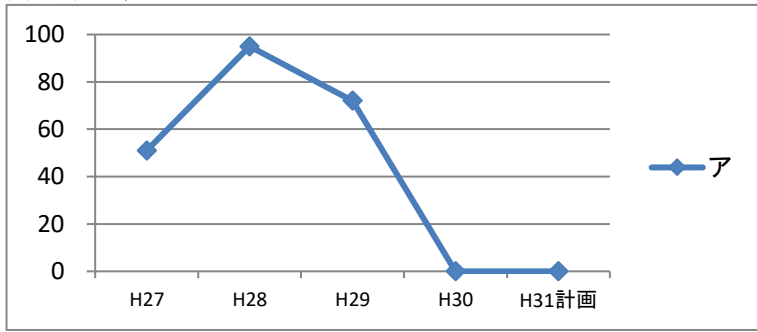
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
	30年度実績(30年度に行った主な活動)		ア スクールカウンセラー総勤務時間＜緊急＞	時間	125	174	174	0
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
	対象意図 市内各中学校の相談をした生徒や保護者 学校生活における悩みや不安が軽減される		ア 生徒及び保護者との面談・相談回数	回	51	95	72	0
	対象意図	イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果			
施策貢献度	大きい	成果向上余地	コスト比率		
	普通	かなりある	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	小さい	ある程度ある	①		
		ほとんどない	②		
			③		
			④⑤	(4)	
			⑥		
			⑦⑧		
			⑨		

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☒ 完了 ☐ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難												
	【コメント】(停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)													
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	向上	横ばい	低下	比較	26年度27年度	27年度28年度	28年度29年度	29年度30年度	30年度31計画
	【コメント】(低下の場合、その理由)													
	③ 今年度取組事項(31年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容		今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☒ 廃止・休止 ☐ その他()								